

## 川崎協同病院後期研修目標

1. 主治医として求められる総合性を基に専門性を身につける
2. 生涯を通じて学習・成長を目指す姿勢を身につける
3. チーム医療におけるリーダーとしての資質を養っていく
4. 医師としての社会における役割を自覚し、行動できる
5. 後継者育成を通して自己の研鑽を行っていく

## プログラムの特徴

### 1. 外来を継続できる

研修ローテートで研修科が変わっても継続して外来診療枠を継続します。

### 2. 病院の枠を超えた地域での研修

川崎医療生活協同組合は、川崎市に約5万世帯の組合員を有し、病院、診療所、歯科診療所、訪問看護 St に加え、地域包括支援センター、老健施設などの介護事業所も運営しています(右図)。幅広いフィールドで、地域包括ケアの本質を学びます。

### 3. 総合医局・多職種での教育

川崎協同病院は1つの医局に全医師が所属しており、各科の垣根なく指導を受けることができます。また、看護師など多職種が研修医教育に携わる文化が浸透しています。

### 4. 患者さんの生活背景まで診る全人的医療

プログラムの中心研修施設である川崎協同病院は京浜工業地帯に近接する医療機関です。この地域は社会的または経済的な困難を抱える方が多く、指導医はそうした背景の中で診療を行っています。この環境で学ぶことで、研修医は医学知識・技術のみに留まらない全人的医療を学べます。

### 5. 医療生協組合員と作り上げる研修

地域の患者さんである医療生協組合員と共に参加型で進めるヘルスプロモーション活動が充実しています。研修医は組合員活動の1つである班会に定期参加し、継続的に地域住民と交流し健康づくりを共に進める貴重な機会が得られます。

## Schedule 例【Year】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
専攻医1年目	総合診療Ⅱ						内科					
専攻医2年目	内科						小児科			救急科		
専攻医3年目	総合診療Ⅰ						総合診療Ⅱ					
専攻医4年目	家庭医療専門研修Ⅰ											

※新・家庭医療専門研修 PG と連動！最短4年で「総合診療専門医」「家庭医療専門医」の資格が取得できます。

☆ 内科研修：川崎協同病院、汐田総合病院、坂総合病院、利根中央病院

☆ 総合診療Ⅱ・家庭医療専門研修Ⅱ：川崎協同病院、かりゆし病院、利根中央病院

☆ 総合診療Ⅰ・家庭医療専門研修Ⅰ：川崎セツルメント診療所、久地診療所、松島海岸診療所

☆ 小児科：川崎協同病院

☆ 救急科：市立川崎病院

☆ 選択：川崎協同病院(外科、整形外科、婦人科)

## 評価方法

### 1. ログをつけて毎月振り返り

患者ログを用いて指導医と一緒に振り返り、経験症例に偏りがなければチェックします。

### 2. 後期研修管理会議でのフィードバック

3ヶ月毎に開催し、指導医のみならず、コメディカルや地域の患者さんの代表も参加して360度の評価を行います。

### 3. SPによる医療面接を用いたフィードバック

川崎医療生協かわさき模擬患者の会のSPによる模擬面談を通して医療面接へのフィードバックも行います。外来のみならず、様々なシーンのシナリオを用意し、総合的な患者対応をチェックします。

### 4. ポートフォリオを用いた形成的評価

総合診療専門医取得のためのポートフォリオの完成をもって研修修了認定を行います。3ヶ月毎のフィードバックでもポートフォリオを用いて形成的評価を行います。

